

事業区分
物的給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		高齢者自立支援用具給付				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 平成 1 2 年度		[終了予定]		- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区在宅高齢者自立支援用具給付事業実施要綱					
	事業対象	在宅の65歳以上の区民で、歩行や排せつ、入浴などに不便がある方							
	事業目的	シルバーカー、腰掛便座等を給付することで、日常生活の利便性を向上させ、高齢者の福祉の増進を図る。							
	事業内容	申請に基づき、以下の生活支援用具を給付する。 シルバーカー、腰掛便座、入浴補助具、歩行支援用具、防水シート 利用者負担：原則として費用の一割							
	委託の有無	なし	委託内容						
	補助金の有無	都							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度		
	活動指標	給付件数	件	3,000	2,914	2,752	2,913		
	成果指標								
	決算額	(単位：千円)			8,324	8,084	9,627		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			2,499	3,409	2,975		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			271	211	343		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			8,053	7,874	9,284		
		総経費			10,823	11,494	12,602		
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			4,098	4,009	4,717		
一般財源(区負担額)			6,725	7,485	7,885				
前回評価から改善した事項	利用者向けのチラシを見直して、よりわかりやすい記載内容となるよう変更した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	歩行や入浴等に支障がある在宅高齢者の日常生活を支援していくために、本事業は必要である。						
	効率性	3	自立支援用具は現物配送としていることから、契約業者が事前連絡の上、訪問するよう取組んでいる。						
	手段の適切性	3	年間契約を行なうことで、用具の発注後速やかに利用者宅に届けることができている。また、利用者宅に届ける際にサイズ合わせを行うなど、利用者の利便性向上に取り組んでいる。						
	目的達成度	3	自立支援用具を手軽に使用できることにより、利用者の在宅生活を支援するとともに、介護者の負担軽減にも役立っている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
5品目、13種類の用具を給付しているが、一部の用具に関して利用者負担の割合が異なるため、公平性の観点から、費用負担について検討していく。						改善			